

小學讀本

井上蘇吉編

一

大日本教育會館
七
三
〇
六
函
架
號
册

175
5
176

第三百五十五號

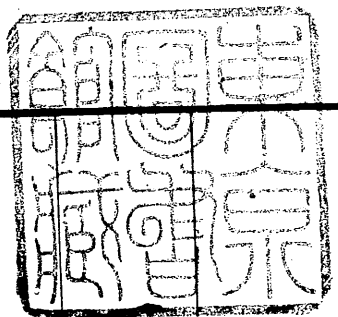
一 凡テ本編ニ於テハ智育德育體育ノ説明ヲ古今ノ例ニ證シ就
 中忠孝彞倫ノ道ヲ教訓シ西洋理學ノ思想ヲ發揮シ及ヒ我邦
 ニ固有ナル尚武ノ風ヲ獎勵スル一ニハ最モ意ヲ注ギタリ
 一 西洋ノ字母及ヒ數字ヲ挿入シタルハ近來西洋ノ學益開ケ到
 底洋學ニ從事スルニ非ザレバ高等ノ教育ヲ受クル一能ハザ
 ルヲ以テ茲ニ其端ヲ開キ以テ兒童ノ心ヲシテ漸ク洋學ニ向
 ハシムルノ一助トナスノミ然レモ學校ノ情況ニヨリテハ之
 ヲ授ケザルモ敢テ妨ゲナシ
 一 續編ノ如キモ亦此旨趣ニ基キ不日編纂スベシ

明治十八年九月

編者識

小學讀本卷之一

井上蘇吉編



西洋文字

エ、ビー、シー

H <small>エチ</small>	A <small>エイ</small>
I <small>アイ</small>	B <small>ビー</small>
J <small>ゼー</small>	C <small>シー</small>
K <small>ケイ</small>	D <small>デー</small>
L <small>エル</small>	E <small>イー</small>
M <small>エム</small>	F <small>エフ</small>
N <small>エヌ</small>	G <small>ジー</small>

ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ
RA	YA	MA	HA	NA	TA
リ	イ	ミ	ヒ	ニ	チ
RI	YI	MI	HI	NI	TI
	I				CHI
ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ
RU	YU	MU	HU	NU	TU
			FU		TSU
レ	エ	メ	ヘ	子	テ
RE	YE	ME	HE	NE	TE
	E				
ロ	ヨ	モ	ホ	ノ	ト
RO	YO	MO	HO	NO	TO

サ	カ	ア
SA	KA	A
シ	キ	イ
SI	KI	I
SHI		
ス	ク	ウ
SU	KU	U
セ	ケ	エ
SE	KE	E
ソ	コ	オ
SO	KO	O

五十音

V	ウ井ー	O	オ
W	ダフリネー	P	ピ
X	エックス	Q	キユウ
Y	ワイ	R	アール
Z	ジ	S	エス
		T	テ井ー
		U	ユ

小學詩本 一巻

ワ WA
ヰ WI
ウ WU
エ WE
ヲ WO

ニゴリ

ガ GA
ギ GI
グ GU
ゲ GE
ゴ GO

ザ ZAGA
ジ ZIGI
ズ ZUGU
ゼ ZE
ゾ ZO

ダ DADA
ヂ DIDI
ヅ DUDU
デ DE
ド DO

バ BADA
ビ BIDI
ブ BUDU
ベ BE
ボ BO

ハンニゴリ

パ PA
ピ PI
プ PU
ペ PE
ポ PO

十二月 一月 二月 三月 四月

五月 六月 七月 八月

九月 十月 十一月 十二月

十 千
甲きのへ。乙きのし。丙きのひ。丁きのつ。戊きのち。己きのの。庚きのか。辛きのと。壬きのみ。癸きのひ

十二支 子ね 丑うし 寅とら 卯う 辰たつ 巳み

午うま 未ひつ 申さる 酉とら 戌いぬ 亥み

四季 春はる 夏あつ 秋あき 冬ふゆ

四方 東ひがし 西にし 南みなみ 北きた

五色 青あき 黄き 赤あか 白しろ 黒くろ

第一課

人子

人の子たるものいよく おやのを

へを まもり よき人

と ちらんを つと

むべし。

第二課

山川

大の川のみちもそハ

かの山に あり。 かの



山のゆき とけて この川のみづ ませり。

第三課

大。小。

つきよ 大小あり。三十一にちのつきを
大といひ。三十にちのつきを 小と
いふ。 二ぐまののみハ 二十八ふちも
くくハ 二十九にちあり。二十九ふちの
ときハ 一うるふつきと いふ。

第四課

日。月。

日ハ ひるを てらし 月ハ よるを
てらひ。 日のひかりあるあひだを ひる
と いひ。 日のひかりなきあひだを よ
るといふ。

第五課

火。水

火ハ ものを やき くらきを てらひ。
水ハ ものを うる回し また これ

を きよむ。火と水とい 人げんよ か
くべからざるものなり。

第六課

木土。

己がくにふてい 木ふて いへを つく
り 土よて かべを ぬる。木と土との
もちひかた また はかむだ ひろし。

第七課

父母。

をとこおやを 父とい ひ をんぢおや
を 母とい 母のめぐみのやま
よりも たかく うみよりも ふかし。

第八課

犬牛。

犬ハ よく いへを まもり。牛ハ よ
くものを たごぶ。犬ハ 人のめぐみ
を 己をれど。牛のちハ からだのや
しなひと ある。

第九課

王公。



くにかしらを　みか
 ごと　いひ。また　王
 とも　いふ。そのけら
 いよて　くらゐのもつ
 ともたかき人を　公と
 いふなり。

第十課

目。耳。

目ふて　ものを　み　耳にて　ものを

きく。人の　みる　ときく　とによりて　あ
 ゑを　うる　あり。

第十一課

布。皮。

きぬ。もめん。布あどい　人のきもの　と　な
 へ。　さむさを　志のぐふ　もちふ。　さむ
 さのきび　きと　ころにてい　けだもの
 皮を　もちふ。　けだもの　皮い　きぬも
 めんあどよりも　あたく　かり。

第十二課

可之。

人 一たび よむときハ おのれ 之を
りゝたび よむ可く。 人 もゝたびすれ
バ おのれ 之を 千たびも可し。

第十三課

口舌。

口にて ものを いひ 舌よて ものを
あぢえふ。

口ハ 舌ハ 舌ハ 舌ハ 舌ハ 舌ハ
のぬ。 つゝ志むべし。

第十四課

天地。

人のいたゞくところを 天と いひ。 人
の ふむところを 地と いふ。 天ハ
ひろくして かぎりなく。 地ハ ひろく
といへども かぎりあり。

第十五課

主奴。

ひとを つらふものを 主と いひ。 ひ

とよ つかをるゝものを 奴といふ。
主の 奴を めぐみ。 奴の 主を うや
まふべし。

第十六課

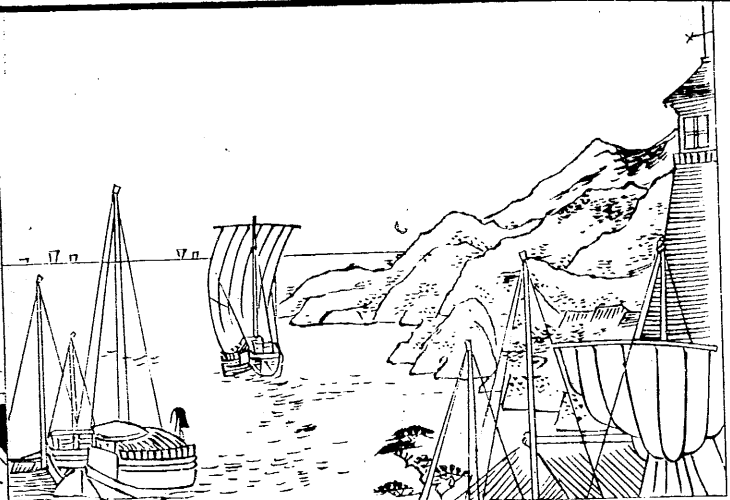
冬。氷。

冬の 一ねんのうち もつともさむき志
せつみて 木のこゝ おち 氷の 氷と
ありて けしき ちなはだ ものさびし。

第十七課

又。有。

よのおかふ かしこき人 有り。又 お



ろかなる人 有り。つ
とめて まあぶときい
かしこき人と あるべし。

第十八課

舟。帆。

おのみあそにの 舟の
でひり お月し。 いづ
るときい 帆を 何げ。

以るときい 帆を おろす。

第十九課

正。交。

正しき人と えらんで ともと すべし。

正しからざる人に 交はるるときい 日

ざさひ おろし。

第二十課

多。少。

多きを うるよひ 少きより さぶむべ

し。たかきたに のぶるよひ ひくきより

すべし。みだりに 多きとたかきとを

のぞむべからば。

第廿一課

上。中。下。

一ヶ月のうち。おどめの十日を 上志ゆ

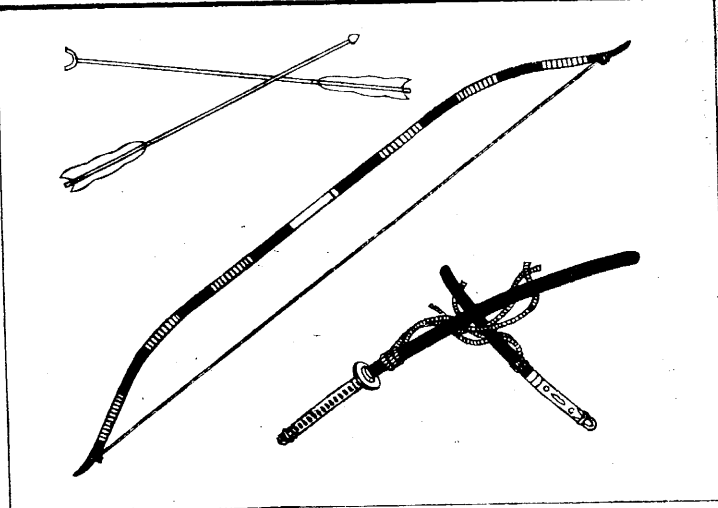
んと いひ。つぎの十日を 中志ゆんと

いひ。のちの十日を 下志ゆんと いふ。

第廿二課

弓。矢。刀。

弓。矢。刀。の。むかひ。さむらひのいくさだ



うが ありしが 以ま
 の 志きを まてし
 もつたら てつはうを
 もちふ。

第廿三課

本。文字。

文字を 志らざれば
 本をよむと あたはず。

本をよまざれば 人よぬやめら

る。人ゆゑよぬとけあきものり 文字を
 まなぶを だぬいちのつとめと すべし。

第廿四課

内。外。出。

内ふ あるときひ 父母に 志たおひ。
 よく そのをへせ まもり。外よ 出
 づるときひ。まづ そのゆるしと うく
 べし。

第廿五課

左。右。方。

あさ 日の 出づる方よ むあひて たつ
ときハ その右を みあみと いひ。左
と きたと いふ。 そのまへハ ひあし
にして そのうしろハ よしなり。

第廿六課

玉。石。光。

玉も みあうざれば 光あく 石も み
あけば 光を まあつとあり。 まなむさ
る人の ひかりあき石かたらの おとし。

第廿七課

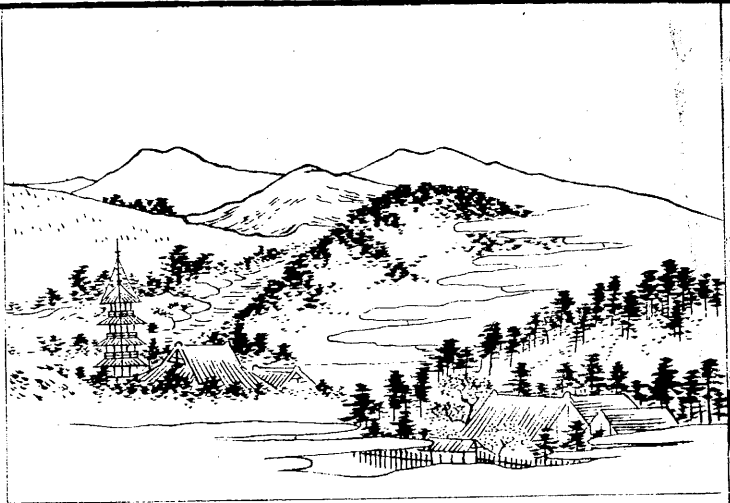
老。幼。年。

幼年のときに まあむざれば 老年ふ
いたりて かあらば くゆるとあり 幼
きものハ 老いたる人を うやまふと
つねのみちとす。

第廿八課

寺。瓦。宅。

山のふもとに たかき瓦ぶきのやねの
みゆるハ 寺なり。 ちあたのちかけよ



あいせらるゝみちなり。

みゆるの わが宅なり。

第廿九課

勿好向。

人の たがひに 志ん
せつを つくし。 おの
まの 好まざるを
人に 向ひて おまを
勿あれ。 志き 人に

第三十課

肌白色

せいやうの人の その肌 となをだ 白
し。 以んぞ。 あふりうなどの人の その
色 はおもむく ところし。

第三十一課

功名千年

そよとみひでよしの をそりのくよの以
やしき人をれども つひに くまんむく
のくらゐよ のなきり。 おれぞ 功名を

千年に つたふるものと いふべき。

第三十二課

名山。大川。

もるがのふと。志者のあさまのおときハ
みお 名山にして。 志もほけのそねが
は。やまゝろのよどぶのおときを みお
大川なり。

第三十三課

丈。尺。寸。分。

丈。尺。寸。分。ハ 物のたけを とかるとな
へにして。 十分を 一寸と いひ。 十寸
を 一尺と いひ。 十尺を 一丈と い
ふ。

第三十四課

石。斗。升。合。

まきの ぬめ。さけ。おどを とかるだうぐ
にして。 一合まは。一升まは。一斗まは。あ
り。 十合を 一升と いひ。 十升を 一
斗と いひ。 十斗を 一石と いふ。

一巻 一合

小學讀本卷之六

第三十五課

死。生。吉。凶。

生あるものを みだりに 去るすべから
ぬ。死したるものい ふたゝび 生きた。
生い 吉にして 死い 凶なり。吉い
よろこぶべく 凶い かちむべし。

第三十六課

古。今。代。世。

古へ 志んむてんわう。このくにを ひ
らきたまひより 今にわたるまで か



しおくも 百二十三代
のみあど ひきつゞき
世を 志ろしめす。
まふとに せかひふ
ためしなきことなり。

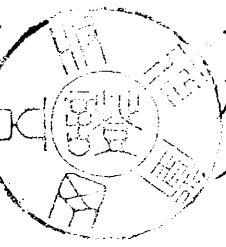
小學讀本卷之一終

小學讀本一巻

明治十八年八月廿五日版權免許
同 年九月 出版

編者兼
出版人

發兌書肆



東京府平民

井上 蘇吉

東京神田區裏神保
壹番地

澤屋 蘇吉

同同區同町同番地

鹽島 一介

同日本橋區吉川町
六番地

賣

東京日本橋通三丁目

丸善書店

同本町三丁目

金港堂

同銀座四丁目

博聞社

捌

同南傳馬町壹丁目

叢書閣

大阪備後町

梅原龜七

所

同心齋橋筋北久宝寺町

叢書閣

京都河原町通三条下ル

大黒屋書舖